

## 財団法人 日本サッカー協会

## 平成 22 年度 第 5 回理事会

## 報告事項

## 1. 2022 年 F I F A ワールドカップ招致の件

## (1) 一般財団法人招致委員会理事会承認事項について

8 月 6 日に開催された同委員会理事会において以下の項目が承認された。

## ① 一般財団法人招致委員会 新役員（新規・変更対象者名には下線）

法人名： 一般財団法人 2018・2022 年 F I F A ワールドカップ日本招致委員会

評議員： 岡野 俊一郎（最高顧問）

川淵 三郎（名誉会長）

鬼武 健二（名誉副会長）

理 事： 小倉 純二（F I F A 理事／会長）※代表理事

大東 和美（副会長／J リーグチェアマン）

大仁 邦彌（副会長）

田嶋 幸三（副会長／専務理事）

田中 道博（常務理事／事務局長）

監 事： 本林 徹（裁定委員長）

齋藤 幸司（監事）

※一般財団法人設立には、評議員 3 名以上、理事 3 名以上、監事 1 名以上が必要となる。

評議員： 評議員会を構成し、法人の重要事項について決議する。

理 事： 理事会を構成し、法人の業務を執行する。

監 事： 理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成する。

※上記変更に伴い、「一般財団法人 2018・2022 年 F I F A ワールドカップ日本組織委員会」の役員も同様に変更となる。

## ② 2022 年 F I F A ワールドカップ日本招致委員会 新メンバー

**（報告）資料No.1**

## ③ 一般財団法人招致委員会 2009 年度決算

## (2) 国際関連スケジュールについて

以下にて活動を行った。

## &lt; A F C 理事会プレゼン &gt;

期間：2010 年 7 月 30 日（金）

場所：マレーシア／クアラルンプール／A F C ハウス

出席：小倉委員長、中島招致委員／エグゼクティブダイレクター、  
五香チーフダイレクター、小西国際部門マネジャー

(3) 各種リリースについて  
**(報告) 資料No.2**

2. F I F A総会 報告の件

6月10日にF I F A総会が南アフリカで開催された。主な決定事項は以下のとおり。

1. オリンピック 2012・2016・それ以降 男子選手資格年齢  
現在の選手資格年齢である、「23歳以下で、任意の3名のオーバーエイジの選手」を維持することを決定した。
2. F I F A規定の改正  
特別な事情がある加盟協会の、正常化委員会設立の法的根拠を設定するため、F I F A規定を改正することが承認された。
3. ブルネイ協会の資格  
F I F A理事会が提案したブルネイ協会を資格停止とする提案を承認し、ブルネイ協会が再度登録された場合には資格停止を解除する権限を理事会に与えることとした。

3. F I F A理事会 報告の件

6月6日・7日にF I F A理事会が南アフリカで開催された。主な決定事項は以下のとおり。

1. ロンドンオリンピック 2012 男子 大陸別出場枠 (合計 16)  
AFC3.5、CAF3.5、CONCACAF2、CONMEBOL2、OFC1、UEFA4 (ホスト国枠含む) に決定した。
2. ロンドンオリンピック 2012 女子 大陸別出場枠 (合計 12)  
AFC2、CAF2、CONCACAF2、CONMEBOL2、OFC1、UEFA3 (ホスト国枠含む) に決定した。
3. 2014 F I F Aワールドカップ 抽選会開催日  
今までの大会より6ヶ月早く2011年7月30日に開催する。それにより、予選を早く開催できることが可能となった。
4. ブルネイ協会の資格  
ブルネイ協会を「除籍ではなく資格停止」とする提案を9日・10日に開催される総会に行い、ブルネイ協会が再度登録された場合には資格停止を解除する権限を理事会に与えるよう提案する。
5. 選手の地位・移籍規則  
移籍マッチングシステムの履行に関する新付属書類を選手の地位・移籍規則に追加する。
6. Financial Assistance Programme  
2009年の決算報告が好調であったので、2010年は加盟協会向けFAPをUS\$250,000追加支給する。
7. NZのクラブのオーストラリアリーグへの参加  
NZのクラブであるWellington Phoenix FCをオーストラリアAリーグに参加することを承認した。

## 4. AFC理事会 報告の件

7月30日にAFC理事会がマレーシアで開催された。主な決定事項は以下のとおり。

## 1. 第24回AFC総会開催日

第24回AFC総会は、2011年1月6日カタールで開催されることが決定した（アジアカップカタール2011の開幕前日に開催することとした）。この総会では、AFC会長や、FIFA副会長とFIFA理事2名、AFC理事等の選出が行われる。

## 2. ロンドンオリンピック2012 男子アジア地区予選（日本は1次予選免除）

[大会方式]

- ・1次予選 22カ国を2カ国ずつ11組に分けてホーム&アウェー方式で行い、勝者が2次予選に進出する。
- ・2次予選 1次予選を勝ち抜いた11カ国とシードされた13カ国、計24カ国を12組に分けてホーム&アウェー方式で行い、勝者が3次予選に進出する。
- ・3次予選 12カ国を4カ国ずつ3組に分けてホーム&アウェー方式で行い、各組1位が出場権を獲得する。各組の2位がプレーオフに進出する。
- ・プレーオフ 3次予選各組2位の3カ国が1回戦総当たりのセントラル方式で行い、勝者がCAF（アフリカ連盟）との大陸間プレーオフに進出する。

[日程]

- ・1次予選 2011年2月23日(水)、3月9日(水)
- ・2次予選 2011年6月19日(日)、6月23日(木)
- ・3次予選 2011年9月21日(水)、11月23日(水)、11月27日(日)  
2012年2月5日(日)、2月22日(水)、3月14日(水)
- ・プレーオフ 2012年3月25日(日)～29日(木)

## 3. 2014 FIFAワールドカップ アジア地区予選（日本は1次、2次予選免除）

[大会方式]（南アフリカ大会と同様）

- ・1次予選 2カ国によるホーム&アウェー方式で勝者が2次予選に進出する。
- ・2次予選 2カ国によるホーム&アウェー方式で勝者が3次予選に進出する。
- ・3次予選 20カ国を4カ国ずつ5組に分けてホーム&アウェー方式で行い、各組1位および2位が4次予選に進出する。
- ・4次予選 10カ国を5カ国ずつ2組に分けてホーム&アウェー方式で行い、各組1位および2位が出場権を獲得する。各組3位がプレーオフを行う。
- ・プレーオフ 4次予選各組3位の2カ国がホーム&アウェー方式で行い、勝者が他大陸とのプレーオフを行う。

[日程]

- ・1次予選 2011年6月29日(水)、7月3日(日)
- ・2次予選 2011年7月23日(土)、7月28日(木)
- ・3次予選 2011年9月2日(金)、9月6日(火)、10月11日(火)、11月11日(金)、11月15日(火)、2012年2月29日(水)
- ・4次予選 2012年6月3日(日)、6月8日(金)、6月12日(火)、9月11日(火)、10月16日(火)、11月14日(水)、2013年3月26日(火)、6月4日(火)、6月11日(火)、6月18日(火)
- ・プレーオフ 2013年9月6日(金)、9月10日(火)

<p>・大陸間プレーオフ 2013年10月15日(火)、11月19日(火)</p> <p>4. AFCチャンピオンズリーグ 2011年および2012年大会の決勝 2011年および2012年大会の決勝は、現行のニュートラルベニューにおける1試合ではなく、決勝進出チームのどちらかのホームスタジアムにおける1試合で行う。 開催地は、事前に抽選によって決定される。</p> <p>5. AFCプロリーグ特別委員会の委員交代 Jリーグチェアマンの交代に伴い、大東和美チェアマンがAFCプロリーグ特別委員会の委員として承認された。</p>
<p>5. 第5回東アジアサッカー連盟定例総会・第31回理事会開催の件</p>
<p>東アジアサッカー連盟(EAFF)は、第5回定例総会、第31回理事会を開催した。 詳細は下記の通り。</p> <p>第5回東アジアサッカー連盟定例総会・第31回東アジアサッカー連盟理事会 日時：2010年8月24日(火)10:00~12:00 会場：HOTEL KUNLUN (中国・北京)</p> <p>(1) 空席となっていた副会長には、中国の林曉華氏(Mr. Lin Xiaohua)、並びに韓国の金東大氏(Mr. Kim Dong Dae)の就任が承認された。</p> <p>(2) 2012年の夏に予定していた第5回東アジアサッカー選手権・東アジア女子サッカー選手権決勝大会は、2013年に韓国で開催することを決定した。開催時期は次回の理事会で決定する。その後は奇数年開催とし、2015年は中国、2017年は日本で開催することを決定した。</p> <p>(3) 2011年にユース大会を含め、何らかのイベントを開催することを決定した。</p> <p>(4) 次回の理事会を10月20日香港で行うことを決定した。</p>
<p>6. スポーツサイエンス・テクノロジー2010への後援名義の件</p>
<p>申請団体：スポーツサイエンス・テクノロジー実行委員会 行 事 名：スポーツサイエンス・テクノロジー2010 主 催：スポーツサイエンス・テクノロジー2010実行委員会 特別協力 (株)フジテレビジョン 後援(予定) 文部科学省、経済産業省、厚生労働省、東京都、(財)日本体育協会、 (財)日本オリンピック委員会、(独)日本スポーツ振興センター、 (財)日本サッカー協会ほか</p> <p>大会趣旨：スポーツとサイエンス&amp;テクノロジーの融合にフォーカスを当て、年に一度さまざまな研究機関および研究機関および企業に散在する最高度の研究成果を一堂に会することにより、スポーツサイエンス・テクノロジーのより一層の発展に貢献することを目指す。</p> <p>開催期日：12月17日(金)~19日(日) 開催場所：東京ビッグサイト 西1ホール</p>

## 7. ダノンネーションズカップ 2011 in JAPAN への後援名義の件

申請団体：ダノンネーションズカップ 2011 in JAPAN 実行委員会

行事名：ダノンネーションズカップ 2011 in JAPAN

主催：ダノンネーションズカップ 2011 in JAPAN 実行委員会

後援(予定)：文部科学省、東京都、(財)日本サッカー協会他

特別協賛：ダノンジャパン(株)

大会趣旨：この大会を通じて、将来の日本サッカー界に貢献できる選手を育てることを目的とし、同時に指導者の研鑽の場として活用する。

少年少女のサッカーのレベル向上に努めるとともに、他チームとの交流と親睦をはかり、フェアプレー精神、健全な心身、社会生活など人間形成の場とする。

参加資格：本会第4種加盟チームに所属する選手で小学生4年～6年生。

大会方式：予選大会 各地区予選 32 チーム×3 地区

決勝大会 地区予選 12 チーム+Jクラブ (最大 20 チーム)

開催期日：予選大会 2011年3月6日(日)、13日(日)、20日(日)

決勝大会 2011年3月26日(土)・27日(日)

開催場所：予選大会 関東地区(東京)、東海地区(愛知)、関西地区(大阪)

決勝大会 東京

## 8. JFAエリートプログラムU-14 韓国遠征の件

行事名：JOC日韓競技力向上スポーツ交流事業

JFAエリートプログラムU-14 韓国遠征

期間：2010年9月7日(火)～12日(日)

場所：韓国・昌原サッカーセンター

## [スケジュール]

9月 7日(火) 堺トレセン集合 トレーニング

8日(水) 出発 トレーニング

9日(木) トレーニング・試合 (vs U-14 韓国選抜)

10日(金) トレーニング

11日(土) トレーニング・試合 (vs U-14 韓国選抜)

12日(日) 帰国・解散

## [スタッフ]

監督：星原 隆昭 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)

コーチ：木村 康彦 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)

GKコーチ：望月 数馬 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)

ドクター：小島 岳史 (医療法人 社団橘会 橘病院)

総務：福嶋 弘崇 ((財)日本サッカー協会 技術部)

## [選手]

22名 (後日報告)

## 9. (財)日本体育協会 公認スポーツ指導者等表彰者推薦の件

対象者である指導者、スポーツドクターのなかから永年にわたり功績のあった下記のスポーツドクターを推薦する。

被推薦者： 荒川 正一 氏 1950年生まれ

スポーツドクターとしての活動歴

1993年～1995年 ユニバーシアード福岡大会

1997年 F I F Aワールドユース選手権マレーシア

2000年～2001年 ユニバーシアード北京大会

2006年～2007年 ユニバーシアードバンコク大会

## 10. J F A公認フットサルC級コーチ養成講習会開催要項の件

2010年度J F A公認フットサルC級コーチ養成講習会開催日程が次の通り決定した。

## 第1コース

期間：2010年10月1日(金)～3日(日)

場所：北海道青少年会館（北海道札幌市）

人数：17名

## 第3コース

期間：2010年11月5日(金)～7日(日)

場所：ホテル箱根パウエル/レイクアリーナ箱根（神奈川県箱根町）

人数：24名

## 第4コース

期間：2010年11月26日(金)～28日(日)

場所：メイワサンピア（新潟県新潟市）

人数：22名

## 第5コース

期間：2011年1月28日(金)～30日(日)

場所：スポーツマンハウス鈴鹿/三重県営鈴鹿スポーツガーデン（三重県鈴鹿市）

人数：18名

## 第6コース

期間：2011年3月25日(金)～27日(日)

場所：レークさがわ/S Gホールディングスグループ総合体育館（滋賀県守山市）

人数：18名

## 第8コース

期間：2011年3月11日(金)～13日(日)

場所：サンピアセリーズ（高知県高知市）

人数：18名

## 第9コース

期間：2010年9月17日(金)～19日(日)

場所：かんぼの郷 宇佐（大分県宇佐市）

人数：20名

<p>全7コース、計137名</p> <p>※第2コース(東北)および第7コース(中国)は応募少数につき、講習会のカリキュラムが実施できないため、他コースへの振り替え等にて対応、第2コースならびに第7コースは実施しない。</p>
<p>11. J F A ・ J リーグ特別指定選手制度の件</p>
<p>選手： シュミット ダニエル</p> <p>(所属歴： 中央大学学友会サッカー部 ← 東北学院高校サッカー部 ← 東北学院中学校 ← 仙台スポーツシューレFC ← 仙台市八幡サッカースポーツ少年団)</p> <p>所属元： 中央大学学友会サッカー部</p> <p>受入先： 川崎フロンターレ</p> <p>承認日： 2010年8月11日</p>
<p>12. F I F A U-17 女子ワールドカップ トリニダード・トバゴ F I F A デレゲーションの件</p>
<p>F I F A より、F I F A U-17 女子ワールドカップ トリニダード・トバゴの大会役員として以下の指名があり、受諾した。</p> <p>メディカルオフィサー： 土肥 スポーツ医学委員</p>
<p>13. 指導者 海外派遣の件</p>
<p>アジア貢献事業の一環として、下記の指導者(1名)をJICA((独)国際協力機構)のボランティア派遣制度によりタジキスタンに派遣する。</p> <p>先方協会からの派遣要請に基づくもので、JFAとして派遣指導者へのサポート(指導用の情報・教材提供、現地協会との諸連絡等)を行なう。</p> <p>派遣国： タジキスタン</p> <p>派遣者： 鈴木 隣 (スズキ ナリ) (51歳)</p> <p>資格： JFA公認 S級指導者</p> <p>役職： U-16アシスタントコーチ、ユース育成コーチ</p> <p>派遣期間： 9月下旬より3ヶ月間</p>
<p>14. 文部科学省の参与 就任の件</p>
<p>岡田武史理事が、8月20日付けで、文部科学省の参与に就任した。</p>
<p>15. 大会役員 国際試合への派遣の件</p>
<p>(役員)</p> <p>① FUTURO III</p> <p>インストラクター：松崎 康弘、山岸 昂司、唐木田 徹、長田 和久</p> <p>期間：2010年9月1日～8日</p> <p>場所：香港</p>

- ② AFC U19 Championship China 2010  
インストラクター：石山 昇、内海 俊雄  
期 間：2010年9月30日～10月18日  
場 所：淄博/中国
- ③ AFC Champions League 2010 -Semi Final 1 -2<sup>ND</sup> Leg  
Seongnam Ilhwa Chunma (Korea Republic) or Suwon Samsung bluewings (Korea Republic)  
vs. Jeonbuk Hyundai Motors (Korea Republic) or Al Shabab (Saudi Arabia)  
アセッサー：上川 徹  
期 間：2010年10月18日～21日  
場 所：城南/韓国または水原/韓国
- ④ AFC Project Future Referees Selection Course for Batch 2010  
インストラクター：石山 昇  
期 間：2010年11月1日～9日  
場 所：クアラルンプール/マレーシア
- ⑤ AFC Asian Cup Qatar 2011<sup>TM</sup>  
インストラクター：石山 昇、内海 俊雄  
期 間：2011年1月1日～30日  
場 所：ドーハ/カタール
- ⑥ AFC U19 (女子) 2011 2次予選  
参加国： ベトナム、タイ、台湾、その他2カ国 (未確定)  
大会期間：2010年10月21日 (木) ～30日 (土)  
開催地： マレーシア クアラルンプール  
マッチコミッショナー： 東明 有美
- ⑦ AFC U16 (女子) 2011 2次予選  
参加国： タイ、ミャンマー、台湾、その他2カ国 (未確定)  
大会期間：2010年12月3日 (金) ～12日 (日)  
開催地： マレーシア クアラルンプール  
マッチコミッショナー： 小林 美由紀
- ⑧ 第16回アジア大会 (女子) 2010  
参加国： 15カ国  
大会期間：2010年11月14日 (日) ～24日 (水)  
開催地： 中国 Guangzhou (広東省)  
マッチコミッショナー： 江川 純子
- ⑨ AFC U19 2010 選手権  
参加国：中国、サウジアラビア、シリア、タイ、バーレーン、北朝鮮、イラク、  
ウズベキスタン、日本、ヨルダン、UAE、ベトナム、オーストラリア、イラン、  
韓国、イエメン  
大会期間： 2010年10月3日(日)～17日(日)  
開催地： 中国 Zibo (山東省)  
マッチコミッショナー： 増田 尚弘



## (審判員)

- ① International 'A' Friendly Match Korea Republic vs. Nigeria  
審判員：西村 雄一、相楽 亨、名木 利幸  
期 間：2010年8月9日～12日  
場 所：水原/韓国
- ② AFC U19 Women's Championship 2011 -Qualification Round 1 (Group B)  
審判員：佐藤 奈美、鮎貝 志保、千葉 恵美  
期 間：2010年9月17日～25日  
場 所：ダッカ/バングラデシュ
- ③ AFC U19 Women's Championship 2011 -Qualification Round 1 (Group A)  
審判員：吉澤 久恵  
期 間：2010年9月17日～25日  
場 所：マニラ/フィリピン
- ④ 6<sup>TH</sup> WAFF Championship 2010  
審判員：松尾 一  
期 間：2010年9月24日～10月4日  
場 所：アンマン/ヨルダン
- ⑤ AFC U19 Championship China 2010  
審判員：當麻 政明、西尾 英朗  
期 間：2010年9月30日～10月18日  
場 所：淄博/中国
- ⑥ AFC U16 Women's Championship 2011 -Qualification Round 1 (Group A)  
審判員：佐藤 奈美  
期 間：2010年10月12日～25日  
場 所：マニラ/フィリピン
- ⑦ AFC Cup 2010 -Semi Final 1 :2<sup>ND</sup> Leg  
Al Ittihad (Syria) or Kazma (Kuwait) vs.  
Al Karamah (Syria) or Muangthong United (Thailand)  
審判員：高山 啓義、大塚 晴弘、八木 あかね  
期 間：2010年10月17日～20日  
場 所：アレッポ/シリアまたはクウェート
- ⑧ AFC U19 Women's Championship 2011 -Qualification Round 2  
審判員：深野 悦子  
期 間：2010年10月18日～31日  
場 所：クアラルンプール/マレーシア
- ⑨ AFC U16 Championship Uzbekistan 2010  
審判員：扇谷 健司、八木 あかね  
期 間：2010年10月21日～11月8日  
場 所：タシケント/ウズベキスタン
- ⑩ AFC Project Future Referees 2<sup>ND</sup> Development Course Batch 2009  
審判員：三上 正一郎

期 間：2010年10月24日～31日

場 所：マレ/モルディブ

⑪ AFC Project Future Referees Selection Course for Batch 2010

審判員：小泉 朝香、荒木 友輔

期 間：2010年11月2日～9日

場 所：クアラルンプール/マレーシア

⑫ 16<sup>TH</sup> Asian Games 2010 -Men' s Football Competition

審判員：東城 穰

期 間：2010年11月4日～26日

場 所：広州/中国

⑬ 16<sup>TH</sup> Asian Games 2010 -Women' s Football Competition

審判員：佐藤 奈美、山岸 佐知子、吉澤 久恵、高橋 早織

期 間：2010年11月11日～25日

場 所：広州/中国

⑭ AFC Asian Cup Qatar 2011<sup>TM</sup>

審判員：西村 雄一、相楽 亨、名木 利幸

期 間：2011年1月2日～30日

場 所：ドーハ/カタール

16. 名義使用申請の件

(1) 申請団体：日本青年団協議会

行事名：第59回全国青年大会

趣 旨：この大会は、地域を舞台にスポーツや文化活動といった様々な活動に取り組んでいる青年たちが都道府県の代表として全国各地から集まり、日ごろの地域活動の成果を仲間たちとともに発表し、また、その技術を競い合うことによって、青年同士の友好親善を深めるとともに、スポーツや文化活動が豊かに取り組まれる健康で文化的な生活を自らの手で作り出し、さらには、青年がその中心となりながら、子どもたちやお年寄りといった多様な世代が手を取り合って暮らせるような、真に豊かな地域社会の創造を目指し開催する。

主 催：日本青年団協議会、(財)日本青年館、東京都

後援(予定)：文部科学省、(財)日本体育協会、NHK

協賛(予定)：内閣府、厚生労働省、各道府県又は道府県教育委員会、  
 (社)中央青少年団体連絡協議会、(独)日本スポーツ振興センター、  
 (財)日本バレーボール協会、(財)日本バスケットボール協会、  
 (財)日本バドミントン協会、(財)全日本軟式野球連盟、  
 (財)日本ソフトボール協会、(財)日本卓球協会、  
 (財)全日本柔道連盟、(財)全日本剣道連盟、  
 (財)全日本ボウリング協会、  
 (財)日本サッカー協会、  
 特定非営利活動法人日本アマチュア演劇連盟、

(社)全日本合唱連盟、(社)日本将棋連盟、日本体育大学、  
(財)日本レクリエーション協会、(財)あしたの日本を創る協会、  
江戸川区、特定非営利活動法人テレビ日本美術家協会

期 日：2010年11月12日（金）～15日（月）

会 場：東京武道館を中心にして行う

第59回大会の実施種目一覧：

体育の部

バレーボール（男・女）、バスケットボール（男・女）、バドミントン、軟式  
野球、ソフトボール、卓球、柔道、剣道（男・女）、ボウリング、フットサル

文化の部

演劇、人形劇、合唱、郷土芸能、写真展、生活文化展、将棋、意見発表

交流企画

のどじまん大会、舞台パフォーマンス大会

(2)申請団体：広島県サッカー協会

行 事 名：大竹市に対し「大竹市臨海公園にサッカー場建設を求める陳情書」を提出  
するため

目 的：慢性的なグラウンド不足に対応するとともに、フットボールセンターとし  
ての機能を持ち、情報発信の基地として有効な施設として活用する事を目  
的とする。～大竹市“臨海公園”にサッカー用のグラウンド・クラブハウ  
スなどを建設する事により～

スポーツ環境のあるべき将来像を掲げ、多くの人々とその将来像を共有し、  
ともにその実現に向けて取り組める社会環境づくりを図る。～サッカー協  
会の行動目標の一つ、グリーンプロジェクトを理解・推進する～

更にグラウンドとクラブハウスを活用した総合型スポーツクラブの設立と地  
域のコミュニティー活性化を促し、豊かなスポーツ文化を創造し、市民・  
県民の心身の健全な発達と社会の発展に寄与する。～同地でのグラウンド数  
を将来4面以上確保する事により、各種大会誘致を図る～

提出先：大竹市 入山欣郎市長

大竹市議会 西川健三議長

賛同者（予定）：(財)日本サッカー協会、(株)サンフレッチェ広島、

(財)広島県体育協会、中国サッカー協会、大竹市サッカー協会、  
廿日市市サッカー協会、福山サッカー協会、呉市サッカー協会、  
竹原地区サッカー協会、東広島サッカー協会、三原サッカー協会、  
安芸高田市サッカー協会、三次市サッカー協会、尾道サッカー協会、  
庄原市サッカー協会、世羅サッカー協会、熊野町サッカー連盟、  
安芸府中サッカー協会、府中サッカー協会、岩国サッカー協会、  
大竹市観光協会、大竹市商工会議所、大竹市青少年育成市民推進会議、  
大竹市暴力監視追放協議会、大竹市コミュニティー推進協議会、  
小方町

(3)申請団体：(財)日本スポーツクラブ協会

事業名：第3回全国スポーツクラブサミット

主催：(財)日本スポーツクラブ協会／全国スポーツクラブ連絡協議会

後援(予定)：文部科学省、厚生労働省、(財)日本体育協会、

(財)日本レクリエーション協会、(社)全国体育指導委員連合、

(財)日本オリンピック委員会、(財)日本体育施設協会、

健康日本21推進全国連絡協議会、(財)健康・体力づくり事業財団、

NPO法人日本健康運動指導士会、(財)笹川スポーツ財団、

(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、

(社)日本グラウンド・ゴルフ協会、日本レジャー・レクリエーション学会、

日本生涯スポーツ学会

協賛：(財)ミズノスポーツ振興財団／明治乳業株式会社

期日：2010年11月13日(土)・14日(日)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター(国際交流棟1階、国際会議室)

定員：200名

趣旨：(財)日本スポーツクラブ協会は、平成11年度以来全国に各種のスポーツクラブの普及・育成するための事業の一環として、全国スポーツクラブセミナー及びサミットを開催している。本サミットは、「スポーツクラブの過去、現在、未来」、「我が国の生涯スポーツの施策と展望」、「我が国の生涯健康の施策と展望」の3つの特別講演に加え、スポーツ振興くじ(toto)助成金申請のポイントの解説、更に各種スポーツクラブが抱える諸課題に焦点をあて、そのクラブの継続的発展のため高齢者の健康運動プログラムの導入を図る等、経営戦略的な取り組みとして企画。他方面にわたる多くの皆様方の利益の増進に寄与することを目的に開催。

## 17. 競技会開催申請の件

(1)申請団体：(社)宮城県サッカー協会

大会名：第8回仙台カップ国際ユースサッカー大会

主催：(財)日本サッカー協会、(社)宮城県サッカー協会、仙台市 他

主管：仙台市カップ国際ユースサッカー大会実行委員会

特別協賛：河北新報社

協賛：有 ※調整中

後援：外務省、文部科学省、ブラジル大使館、フランス大使館、中国大使館 他

開催期間：2010年9月9日(木)～12日(日)

会場：仙台スタジアム(ユアテックスタジアム仙台)

参加チーム：U-19ブラジル代表・フランス代表・中国代表・日本代表

試合の種類：国際有料

入場料金：前売り券

[1日券] ※2試合観戦可

S席指定(一律) 2,000円

自由席(一般) 1,000円

(中高校生) 500 円

(小学生以下・65 歳以上) 無料

[ナイター券] ※9 月 9 日 (大会第 1 日目 第 2 試合のみ)

S 席指定 (一律) 1,000 円

自由席 (一般) 500 円

(中高校生) 300 円

(小学生以下・65 歳以上) 無料

※当日券は S 席、自由席 (一般) 500 円増、自由席 (中高校生) 200 円増、  
小学生以下・65 歳以上は無料

(2) 申請団体: (社) 大阪府サッカー協会

大会名: アミノバイタル CUP 2010

主催: (社) 大阪府サッカー協会

特別協賛: 味の素 (株)

協賛: 大阪サッカークラブ (株)、キリンビバレッジ (株)、東レ (株)、  
ミズノ (株) 他

協力: 桃山学院大学体育会サッカー部、関西大学体育会サッカー部、  
びわこ成蹊スポーツ大学

後援: (社) 大阪府サッカー協会

開催期日: 2010 年 8 月 17 日 (火) ~ 20 日 (金)

会場: 堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター、舞洲球技場

参加チーム: 流通経済大学、駒沢大学、福岡大学、中京大学、キョンヒ大学、  
桃山学院大学、関西大学、びわこ成蹊スポーツ大学

試合の種類: 国際無料

(3) 申請団体: (社) 大阪府サッカー協会

大会名: CEREZO CUP 第 24 回大阪招待ユース U-16 サッカー大会

主催: (社) 大阪府サッカー協会

主管: (社) 大阪府サッカー協会事業委員会

協賛: 大阪サッカークラブ (株)

後援: 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会

開催期日: 2010 年 8 月 13 日 (金) ~ 15 日 (日)

会場: 長居スタジアム、キンチョウスタジアム

参加チーム: 福岡県選抜 U-16、福井県選抜 U-16、セレッソ大阪 U-18、  
大阪府選抜 U-16

試合の種類: 国内有料

入場料金: 前売り 一般 1,000 円 高校生 500 円 小中学生 200 円

当日 一般 1,200 円 高校生 700 円 小中学生 300 円

(4) 申請団体: (社) 山口県サッカー協会

大会名: 第 6 回中国フットサルリーグ柳井大会

主催: 中国サッカー協会、中国フットサル連盟

共催: (社) 山口県サッカー協会、柳井サッカー協会

主管: 中国フットサルリーグ運営委員会、山口県フットサル連盟、柳井サッカー協会

後 援：柳井市、柳井市教育委員会、柳井市体育協会、S Aスポーツクラブ 他  
 開催期日：2010年11月7日（日）  
 会 場：バタフライアリーナ、柳井市体育館  
 参加チーム：SAファイターズ、Junjies futsal family 宇部、広島 DLLC、C・R・F IDEAL、  
 浜田 FutsalClub H N T、P. l. e. de. MASUDA  
 試合の種類：国内有料  
 入場料金： 前売 500円 当日 800円

18. 第5回日本スポーツグランプリ受賞の件

第5回日本スポーツグランプリ（（財）日本体育協会理事会決定）

受賞者：原田 宏（ハラダ ヒロシ）氏 91歳 埼玉県 サッカー活動歴62年

理 由：高校（旧制中学）からサッカーをはじめ、60年以上にわたり埼玉県を代表する選手として活躍している。

全国スポーツ・レクリエーション祭に、昭和63年の第1回大会から第6回大会まで埼玉四十雀サッカークラブの選手兼監督として出場し、埼玉に原田ありと全国にその名を知らしめた。また、全国シニア（60歳以上）サッカー大会に平成12年から4回出場する他、ねんりんピックでは、最高齢者賞を3回、高齢者賞を4回受賞している。

現在も現役選手として県内外の交流大会に参加しており、全国のサッカーマンから慕われ、憧れの存在である。

表彰式：2010年9月25日（土）17：15～18：00

於 ホテルニューオータニ幕張（第65回国民体育大会役員懇親会会場）

※参 考：対象者

- (1) 原則として日本サッカー協会登録選手であること。
- (2) 85歳以上の選手（2010年12月31日までに85歳（1925年生）となる選手を含む）
- (3) 50年間以上サッカーを実施している。
- (4) オリンピック競技大会、各競技別世界選手権大会、アジア大会等の国際大会に出場経験のある者を除く。
- (5) 現在も活動を継続している。

19. 日本サッカーミュージアムの件

1) 入場者数報告

2010年7月 2,473人 1日平均 91.6人

(2009年 1,748人 2008年 2,078人 2007年 2,625人 2006年 3,754人)

8月 4,720人 1日平均 168.6人

(2009年 5,674人 2008年 7,348人 2007年 8,110人 2006年 7,037人)

2) 30万人達成

2010年8月18日（水）16：30に開館以来30万人目のお客様を迎えた。

30万人目のお客様は茨城県潮来市の関澤走（せきざわ かける）さん（11歳）。

## 20. 海外遠征申請の件

- (1) (社) 日本プロサッカーリーグ  
チー ム U-14 Jリーグ選抜 (第3種)  
遠征期間 2010年8月23日(月)～31日(火)  
遠 征 先 ティルブルグ/オランダ
- (2) (社) 日本プロサッカーリーグ  
チー ム U-15 Jリーグ選抜 (第3種)  
遠征期間 2010年8月24日(火)～9月2日(木)  
遠 征 先 リオデジャネイロ/ブラジル
- (3) (財) 茨城県サッカー協会  
チー ム 茨城県トレセン U-14 (第3種)  
遠征期間 2010年8月14日(土)～23日(月)  
遠 征 先 フンデロー・イモラ/オランダ・イタリア
- (4) (社) 栃木県サッカー協会  
チー ム 栃木県選抜 (第4種)  
遠征期間 2010年8月23日(月)～26日(木)  
遠 征 先 ソウル/韓国
- (5) (財) 埼玉県サッカー協会  
チー ム 正智深谷高校 (第2種)  
遠征期間 2010年8月15日(日)～18日(水)  
遠 征 先 ソウル/韓国
- (6) (社) 千葉県サッカー協会  
チー ム 柏レイソル U-15 (第3種)  
遠征期間 2010年8月5日(木)～10日(火)  
遠 征 先 上海/中国
- (7) (社) 千葉県サッカー協会  
チー ム 柏レイソル U-18 (第2種)  
遠征期間 2010年8月23日(月)～27日(金)  
遠 征 先 ソウル/韓国
- (8) (社) 千葉県サッカー協会  
チー ム 柏レイソル U-15 (第3種)  
遠征期間 2010年9月15日(水)～22日(水)  
遠 征 先 マドリード/スペイン
- (9) (社) 千葉県サッカー協会  
チー ム 市立船橋高等学校 (第2種)  
遠征期間 2010年8月25日(水)～30日(月)  
遠 征 先 ロンドン/イングランド
- (10) (財) 東京都サッカー協会  
チー ム 早稲田大学ア式蹴球部 (女子)  
遠征期間 2010年8月15日(日)～19日(木)  
遠 征 先 台北・台中/台湾

- (11) (社)新潟県サッカー協会  
 チーム アルビレックス新潟ユース (第2種)  
 遠征期間 2010年10月4日(月)～8日(金)  
 遠征先 シンガポール/シンガポール共和国
- (12) (社)神奈川県サッカー協会  
 チーム 川崎フロンターレU-12 (第3種)  
 遠征期間 2010年9月28日(火)～10月5日(火)  
 遠征先 プレトリア/南アフリカ
- (13) (社)兵庫県サッカー協会  
 チーム ヴィッセル神戸 伊丹 U-15 (第3種)  
 遠征期間 2010年8月25日(水)～28日(土)  
 遠征先 竜仁市/韓国
- (14) (社)山口県サッカー協会  
 チーム 岩国市サッカー協会トレセン U-15 (第3種)  
 遠征期間 2010年9月18日(土)～20日(月)  
 遠征先 蔚山広域市/韓国
- (15) (社)長崎県サッカー協会  
 チーム 長崎県立波佐見高等学校 (第2種)  
 遠征期間 2010年10月15日(金)～10月18日(月)  
 遠征先 釜山/韓国
- (16) (社)鹿児島県サッカー協会  
 チーム 鹿屋体育大学体育会サッカー部 (第1種)  
 遠征期間 2010年8月6日(金)～13日(金)  
 遠征先 釜山/韓国

## 21. 標章使用申請の件

- (1)申請団体：特定非営利活動法人山形県サッカー協会  
 使用目的：名刺作製 1名分 各100枚
- (2)申請団体：(社)福井県サッカー協会  
 使用目的：名刺作製 29名分 各100枚

## 22. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(更新)の件

(更新)

1. 公認申請者：学校法人梅村学園  
 施設名：中京大学サッカー場  
 施設所有者：学校法人梅村学園 理事長 梅村 清弘  
 ロングパイル人工芝：ハイブリッドターフ(LP-65) / 住友ゴム工業(株)  
 公認期間：2010年7月9日～2013年7月8日  
 公認番号：第1号



## ＜特記事項＞

公認規程に基づき 1 回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

## 2. 公認申請者：学校法人国際武道大学

施設名：国際武道大学サッカー場

施設所有者：学校法人国際武道大学 理事長 松前 達郎

ロングパイル人工芝：フィールドターフ（FTOS 1S） / 奥アンツーカ（株）

公認期間：2010年10月21日～2013年10月20日

公認番号：第4号

## ＜特記事項＞

公認規程に基づき 1 回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

## 23. JFAエリートプログラム 女子U-14 トレーニングキャンプの件

行事名：JFAエリートプログラム 女子U-14 トレーニングキャンプ

期間：2010年7月22日（木）～25日（日）

場所：堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター（大阪府堺市）

## [スケジュール]

7月22日（木） 集合 → フィジカルチェック・トレーニング・ロジカルコミュニケーションスキル

23日（金） トレーニング・

練習試合：U-14 日本女子選抜 3-2 北河内地区トレセンU-13（男子）

24日（土） トレーニング

25日（日） 練習試合：U-14 日本女子選抜 2-2 ヴィッセル神戸伊丹U-13（男子）

## [スタッフ]

監督：大部 由美（（財）日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ）

コーチ：田邊 友恵（（財）日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ/JAPANサッカーカレッジ）

GKコーチ：山邊 由美（（財）日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ/INAC 神戸レオネッサU-18）

ドクター：林 宏治（KKR 大手前病院 整形外科）

アスレティックトレーナー：山口由美子（関西医療大学）

## [選手]

GK 木付 優衣（愛媛県：AC.MIKAN）

清水 栞（埼玉県：浦和レッズジュニアユースレディーズ）

平尾 知佳（福島県：JFAアカデミー福島）

FP 西川 彩華（神奈川県：横須賀セガルス JOY）

榎木 結花（東京都：日テレ・メニーナ）

水谷 有希（福島県：JFAアカデミー福島）

森 沙也香（福島県：JFAアカデミー福島）

井原 美波（千葉県：ジェフユナイテッド市原・千葉レディーズU-15）

新井 純奈（埼玉県：浦和レッズジュニアユースレディーズ）

川崎 咲耶	(広島県：青崎サッカークラブ Hanako Clover's)	
清水 梨紗	(東京都：日テレ・メーナ)	
畑中美友香	(大阪府：FCウエストリア)	
大矢 円佳	(千葉県：ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15)	
清家 貴子	(埼玉県：浦和レッズジュニアユースレディース)	
守屋 都弥	(福島県：JFAアカデミー福島)	
鈴木真梨奈	(宮城県：FC宮城ハルピヤ)	
大久保 舞	(山梨県：エスペランサ)	
瀧澤 莉央	(新潟県：アルビレックス新潟レディースU-18)	
安齋 結花	(千葉県：ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15)	
白木 星	(北海道：ルティアー北海道)	
万屋 美穂	(大阪府：FCウエストリア)	
長井 咲季	(埼玉県：浦和レッズジュニアユースレディース)	
安部由希子	(宮城県：Fun Lady's Football Club)	
八神友梨弥	(愛知県：名古屋レディース)	
長谷川 唯	(東京都：日テレ・メーナ)	計 25 名

## 24. なでしこジャパン海外強化指定選手制度の件

第3回理事会（7月）でなでしこジャパン海外強化指定選手として承認された選手に関して、下記の通り所属チームが確定した。

[なでしこジャパン海外強化指定選手]

氏 名：宇津木 瑠美（ウツギ ルミ）  
所属チーム：モンペリエ HSC（フランス女子1部リーグ）

## 25. U-20 日本女子代表 ワールドカップ 2010 ドイツの件

行事名：U-20 日本女子代表 ワールドカップ 2010 ドイツ  
期 間：2010年7月5日（月）～7月23日（金）  
場 所：福島県双葉郡、ドイツ・アウグスブルグ、ビーレフェルド

[スケジュール]

7月5日（月）	集合・トレーニング
7月6日（火）	トレーニング
7月7日（水）	移動
7月8日（木）	練習試合 vs U20 ニュージーランド女子代表 3-0（勝）
7月9日（金）～13日（火）	トレーニング
7月14日（水）	グループリーグ第1戦 vs U20 メキシコ女子代表 3-3（分）
7月15日（木）～16日（金）	トレーニング
7月17日（土）	グループリーグ第2戦 vs U20 ナイジェリア女子代表 1-2（負）
7月18日（日）	移動・トレーニング
7月19日（月）～20日（火）	トレーニング

7月21日(水) グループリーグ第3戦 vs U20 イングランド女子代表 3-1 (勝)  
 7月22日(木) 移動  
 7月23日(金) 帰国

## [スタッフ]

団長 : 野田 朱美 ((財)日本サッカー協会 特任理事)  
 監督 : 佐々木 則夫 ((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)  
 コーチ : 高倉 麻子 ((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)  
 GKコーチ : 前田 信弘 ((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)  
 ドクター : 斎田 良知 (順天堂大学整形外科)  
 アスレティックトレーナー : 中堀 千香子 (JFAメディカルセンター)  
 テクニカルスタッフ : 見汐 翔太 (筑波大学院)  
 キットマネージャー : 峯尾 雅樹 (アテ'Ita'スジ'ャパン(株))  
 総務 : 山田 薫 ((財)日本サッカー協会 代表チーム部)

## [選手]

GK 船田 麻友 (ジェフユナイテッド市原・千葉レディース)  
 山根 恵里奈 (東京電力女子サッカー部マリーゼ)  
 齋藤 彩佳 (東京電力女子サッカー部マリーゼ)  
 DF 堂園 彩乃 (浦和レッズレディース)  
 小林 海咲 (日テレ・ベレーザ)  
 小原 由梨愛 (アルビレックス新潟レディース)  
 熊谷 紗希 (浦和レッズレディース)  
 岸川 奈津希 (浦和レッズレディース)  
 竹山 裕子 (浦和レッズジュニアユースレディース)  
 MF 加戸 由佳 (岡山湯郷 Belle)  
 山田 頌子 (ジェフユナイテッド市原・千葉レディース)  
 後藤 三知 (浦和レッズレディース)  
 中島 依美 (INAC 神戸レオネッサ)  
 菅澤 優衣香 (アルビレックス新潟レディース)  
 藤田 のぞみ (浦和レッズレディース)  
 木下 栞 (日テレ・メニーナ)  
 齊藤 あかね (常盤木学園高等学校)  
 FW 安本 紗和子 (東京電力女子サッカー部マリーゼ)  
 高瀬 愛実 (INAC 神戸レオネッサ)  
 瀬口 七海 (日ノ本学園高等学校)  
 岩渕 真奈 (日テレ・ベレーザ) 計 21 名

## 26. U-17 日本女子代表候補トレーニングキャンプの件

U-17 日本女子代表候補(U-17 女子ワールドカップ 2010) トレーニングキャンプ  
 期 間 : 2010 年 8 月 10 日(火)~16 日(月)  
 場 所 : 静岡県

## [スケジュール]

8月10日(火)	集合・トレーニング
8月11日(水)～15日(日)	トレーニング
8月16日(月)	トレーニング・解散

## [スタッフ]

監督	: 吉田 弘	((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
コーチ	: 手塚 貴子	((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
GKコーチ	: 川島 透	((財)日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
ドクター	: 黒田 早苗	(大阪大学)
アスレティックトレーナー	: 中野 江利子	((株)アルビレックス新潟ランニングクラブ)
テクニカルスタッフ	: 見汐 翔太	(筑波大学院)
総務	: 土屋 静香	((財)日本サッカー協会 代表チーム部)

## [選手]

GK	平尾 恵理	(聖和学園高等学校)
	三田 一紗代	(京都精華女子高等学校)
	望月 ありさ	(日テレ・メーナ)
DF	樫本 芹菜	(藤枝順心高等学校)
	長澤 優芽	(日テレ・メーナ)
	田口 ひかり	(JFAアカデミー福島)
	和田 奈央子	(JFAアカデミー福島)
	金澤 真美	(常葉学園橘高等学校)
	長嶋 洸	(浦和レッズジュニアユースレイズ)
	村松 智子	(日テレ・メーナ)
MF	浜田 遥	(JFAアカデミー福島)
	川島 はるな	(JFAアカデミー福島)
	高木 ひかり	(常葉学園橘高等学校)
	田中 陽子	(JFAアカデミー福島)
	仲田 歩夢	(常盤木学園高等学校)
	猶本 光	(ANCLAS サテライト)
	本多 由佳	(JFAアカデミー福島)
FW	横山 久美	(十文字高等学校)
	植村 祥子	(藤枝順心高等学校)
	後藤 亜弥	(常葉学園橘高等学校)
	京川 舞	(常盤木学園高等学校)
	加藤 千佳	(浦和レッズジュニアユースレイズ)
	田中 美南	(日テレ・メーナ)

計 23 名

## 27. プレジデント・ミッション(PHQ) 関連事項

I. JFA-47 都道府県協会訪問会議について

(報告) 資料No.3

Ⅱ. J F Aスポーツマネジャーズカレッジ (SMC) について

2010年度 SMC本講座の受講生 24名が決定し、8月6日に開講した。

※6月理事会の報告時から4名の追加。

**(報告) 資料No.4**

Ⅲ. 芝生のプレーグラウンドの整備者に対する感謝状の発行について

都道府県サッカー協会の推薦に基づき、7月・8月度に以下の4件の感謝状を発行した。

高知県「吾岡山文化の森スポーツ広場」(南国市長)

滋賀県「エコふれあい広場」(パナソニック株式会社ホームアプライアンス社社長)

滋賀県「草津市立三ツ池運動公園」(草津市長)

滋賀県「皇子山総合運動公園 陸上競技場」(大津市長)

28. その他

「J F A・Jリーグ新役員披露パーティー」の開催について

日時：2010年10月5日(火) 12時開演

会場：帝国ホテル東京 本館3F「富士の間」